

本州初！

「鶏ふん」バイオマス発電で、 養鶏業の発展と資源循環社会推進を目指す



株式会社十文字チキンカンパニー
JUMONJI CHICKEN COMPANY LTD.

取組のポイント

1 自社のブロイラー生産から発生する鶏ふんを燃料として発電

2 鶏ふんの焼却灰は肥料の原料として販売

3 養鶏場やバイオマス発電所等で雇用を創出し、地域を活性化

事業スキーム

～ 農山漁村再生可能エネルギー法の基本計画に位置づけ ～

ブロイラー生産

(株)十文字チキンカンパニー
及び提携農場

鶏ふん処理
費用軽減

経営発展に
より新たな
雇用を創出



燃料となる鶏ふん

鶏ふん
400トン／日



販売収入

バイオマス発電

(株)十文字チキンカンパニー
バイオマス発電所

現在23名を
雇用



タービンと発電機

売電量
3,630万kWh／年

売電収入



肥料会社

全国農業協同組合連合会等

焼却灰
40トン／日

資源循環
に貢献



電力会社

(株)パルシステム電力

今後の展開

- ✓ 排熱を有効活用するため、軽米町が大規模園芸用ハウスの導入を検討中
- ✓ 発電効率が良好であるため、売電量の増加を見込み、養鶏業の更なる規模拡大を検討中



《バイオマス発電所概要》

- ・所在地／岩手県九戸郡軽米町大字晴山第2地割40-1
- ・敷地面積／約24,400㎡
- ・発電規模／6,250kW（発電端出力）
- ・送電規模／4,800kW（送電端出力）

発電所全景



問い合わせ先

株式会社 十文字チキンカンパニー バイオマス発電所 TEL：0195-49-3020